明治廿九年四月廿九日印刷
明治廿九年五月一日發行

婦人衛生雜誌

第七十八號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第七拾八號
目次

講演
●戰後の經營としての學校衛生　醫學士　三嶋通良君

衛生叢談
●善那氏種痘發明百年紀念祭
●臺灣軍隊の糧食
●臺灣に於ける軍隊の衛生
●臺灣渡航者の注意
●罐詰の良否
●雙兒の原因
●病室の水
●女子の職業
●蒜と葱は病を豫防す
●黑死病の歴史
●種痘發明者
●驢乳最有効
●昨年の傳染病
●新潟縣支會
●大日本婦人衛生會懇親會
●廣告

大日本婦人衛生雜誌
第七拾七號
目次

講演
●滋養物と人物との關係

衛生叢談
●充塡
●義齒
●涅齒
●ジンエナー氏百年期祭
●流行感冒
●芝邊の臺灣風
●府下の天然痘
●天然痘豫防の通牒
●天然痘の病原
●千葉縣の天然痘
●宮城縣に天然痘の猖獗
●新潟縣天然痘發生す
●大日本女學會
●全國配偶者及未配偶者
●大日本私立衛生會總會
●喇叭梅毒を傳ふ
●牡蠣營養價値
●衛生上の葡萄
●大日本婦人衛生會支會設立
●大日本婦人衛生會總會
●廣告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衞生雜誌第七拾八號
（明治二十九年五月一日發行）

講演

戰後の經營としての學校衞生

醫學士 三島通良君

編者偶々本會懇親會の際三島醫學士に邂逅談衞生の事に及びついで此編轉載の承諾を得今又大日本衞生會に照會し此編を掲載することゝなしぬ

諸君。今日本會に於きまして、諸君の前で卑見を申上げ、御清聽を汚すことを得ますのは、私に取ッて甚だ冥加のことと存じます。演題は茲に掲げました通り、常に私の好んで研究して居る學校衞生の戰後の經營として、最も必要であると云ふことを申上げて諸君の清聽を煩はしたいと存じます。

御承知の通り、昨年以來此戰後に當ッて、我日本國の經營として、既に帝國議會にも政府から提出されて居りまする所の問題は隨分澤山でございまして、就中軍備の擴張であるとか、或は交通運輸の機關其他敎育の進歩を計る所の計畫であるとか隨分數多いことでございます、隨ッて是に要します費用も亦莫大なるものでございます。經常費、臨時費と云ふやうなものを加へますれば幾億と云ふ數を以て算へる程の、前代未聞の費用を要することをは、私の申す迄もなく諸君も既に御承知のことでございます。隨ひまして、此費用に充てまするために、又それだけの財源を得ねければなりませぬので、或は增税法案であるとか、事業公債であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るとかと云ふものを興して以て、此費用に充てるとになッて居るやうでございます。又翻つて民間の方を觀ますれば、戰捷の結果として、各種の事業が勃興致しまして、此が資本に充てる所の費額も亦幾億を以て算へるに至ッて居ります。斯の如く戰捷國の日本は一時に膨脹をして來ると云ふ時機になッて居りまするが、此際に此戰後の經營として提出せられた問題は或る一部に於ては實に至れり盡せりと言ふても宜い位でありまして、殆と應接に遑あらざる程に、澤山の問題か出て居ります。然るに私が學校衞生と云ふ事を、戰後の經營の一ッとして、眞先に攻究しなければならぬ實行しなければならぬと云ふとを申しまするのは決して私が強て辯を好むのではなくして、衷心此必要を認めるに依て、今日諸君の淸慮を煩はしたいと思ふからであります。此學校衞生と申します事は、やう〳〵近年、世の中に其事柄を知られましたものでございますから、隨つて未だ學校衞生の何物であると云ふことを、御承知ない御方もなきにしもあらず。ために學校衞生の事は世の中からして、聊か度外視せられて居ると云ふやうな傾もないではございませぬ。隨ッて學校衞生と云ふ事が、戰後の經營として、どれだけ必要であるか、自分は視て以て眞先に必要である、之より急務はないと思ふて居るに、それだけ此感じを有たれぬ御方がないではない、否澤山であると信じます。茲に私は此學問のために熱心誠實でありまする所からして、國家前途の爲に聊か蕪辭を申述るとに相成りました。若し私の言葉の中、諸君に對して不敬に涉るやうな事がございましても

決して諸君を蔑ろにして申上げる譯ではございませぬので、全く自分の熱心よりして、或はさう云ふ事に渉ることがございまするかも知れませぬ。其邊は豫め御宥恕を願ひ置きます。

此戰後の經營としての學校衛生と云ふ事に就きまして、私は先づ之を三つに分つて御話をすると、甚た適當なることを認めます。第一には學校衛生と云ふものは如何なるものであるか、第二には本邦に於ける學校衛生の現況、第三に至りまして學校衛生の戰後の經營として必要であること、國家及社會が之に對する所の權利及義務に就いて御話をしやうと思ひます。

學校衛生と云ふ言葉の社會に紹介せられましたのは、漸く千七百八十六年頃でございまして、ヨハンペーテル、フランクと云ふ人が『完全なる醫事警察法』と云ふものを著はしまして、其中の第二卷第三篇に於て、學校生徒の衛生上の事に就いて論述したことがございます。之を以て先づ創めと致さなければなりませぬ。降つて學校衛生が一科の專門學として世の中に紹介せられましたのは、千八百八十年の頃でございまして、即ち我明治十三年の頃で、有名なるバキンスキー氏が『學校衛生學』と云ふ著述をしました頃でございました。我國に於ても學校衛生と申します言葉は既に十年以前からして、世の中に知られて居つたことでございますが、學校衛生の如何なるものであるかと云ふ事、即ち其眞相を社會に紹介しましたことに就いては不肖聊か其任を盡して居ると確信致します。是は明治廿四年頃からのことでございます。未だ極く日の淺いことでございます。一體此學校衛生と申し

ますものは、衛生學の中の分類より論しますれば公衆衛生學に屬する方でありまして、國家が之に對して行ふ——公共の事として行ふべき所の衛生の事業に屬しますので、隨分關係の廣いものでございまして此學問を攻究しますに就いては、眼を大局に放つて、一國の行政、經濟のやうな事から風俗習慣のやうな事、總ての點に注意をして參りませぬければ、眞個の研究も出來ず、隨つて之を實行して其目的を達すると云ふともむつかしいのであります。

元來敎育と申します事は、御承知の如く政府は國家敎育の方針を採つて、敎育を行ふて居りますが私の視る所を以て申しますれば、敎育の一番の基礎になるべきものは、學校衛生である。敎育の基本たるべきものは、學校衛生である。即ち敎育と云ふ建物を建てるには、先つ學校衛生と云ふ土臺を据えなければなりませぬ。礎を堅めざる建物の危險なる事は何人も知つて居る事柄でございますが、敎育に學校衛生の基礎のなきは危險であると云ふ事に著目する人は少い。即ち基礎のない家屋の危險なる事は知つて居るが、學校衛生の基礎のない敎育の危險ある事を知つた人は稀である隨つて之を顧みぬために、今日の敎育は、學校衛生と云ふ方の側に於て隨分夥しい缺點がございまして、學校衛生の學術よりして、攻究實施すべき所の、學校の敷地、校舍の設計、就學の年齡、學科、時間に關する事、學校傳染病の豫防、及兒童の保護に關する事、躰操遊戲の主旨、方法と云ふやうな事柄に就いては、皆學校衛生學上からして、攻究すべき問題でありまするのを、それを棄

てまして、衛生上の研究を經ない想像を以て現今は此等の基礎として當箝めてあります。所謂杓子定規を以て極めたものである。日本の兒童の發育は如何あるものであるか、幾許の年齡に達したる兒童は、どれだけの體格と能力を有つて居るかと云ふ事を考へずして、唯一片の理事者の頭から、こんなものであらうと云ふだらう考から割出したものであるから、隨つて適當はせぬと云ふ事は申す迄もない話である。

諸君も御承知の如く、凡そ教育は心育と体育との二つに分ちまして、心育と申す中に智育と德育とを含んで居ります。今日の教育は心育と云ふ側に於きましては、可なり發達して居る。十分ではないけれども先づ發達して居ると申して宜い。躰育と云ふ側に於ては、發達する所ではない。まるで萎縮して居ると言つても宜い有樣であります。併しながら、政府は教育上、躰育の事は少しも注意せぬか、躰育と云ふものは度外視して居るかと言へば、決してさうではない。既に普通教育の中の基本教育となる所の小學校であつても――其小學校令の第一章第一條にも、

小學校ハ兒童身躰ノ發達ニ留意シテ、道德教育及國民教育ノ基礎並其生活ニ必要ナル普通ノ智識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

と云ふ事はちやんと極めてございます。又此小學校令を發しました時分に、時の文部大臣大木伯は文部省訓令第五號として自分の意見を出して居る中にも

身躰ハ百事ヲ成スノ根源ナリ幼時身躰發育旺盛ノ時ニ在リテ之カ培養ヲ忽ニスルトキハ成長

ノ後遂ニ羸弱ノ民トナルベシ小學校ニ於テハ殊ニ玆ニ留意セザルベカラズ

と云ふ事がございます。然らば文部省は此教育を――普通教育を行ふ上に於ては、躰育と云ふ事に十分重きを置いて居るのでございます。然るに今日普通教育の實況を視察すれば、此法令の趣意に反して、躰育と云ふ事に就いては毫も留意して居らぬ。小學校令の趣意は、就學兒童の健康教育に留意すると云ふ事を以て最先きに置いて、而して普通教育を施すと云ふ事でありまするのに、今日の小學校は多く此一番首腦となるべき所の兒童の發達に留意するとなしに、外の事だけを少しつゝ行つて居るから、恰も首のない體がそこに居るやうなものであります。首腦のない人物が立つて居るやうなものであります。即ち普通教育の本當の趣意といふものを行ッて居るものではないのであります。尚ほ一言申上て置かねばなりませぬのは躰育と申しまする言語は先づ普通往き渉つた言語で、世の中の人が知つて居りますが、事實体育と云ふものは學校衛生の一部分である。學校衛生は体育及其他の事項を包合したるもので頗る範圍の廣いものである。其一部分に屬する所の体育と云ふ事さへ、今日實行されて居らぬのであるから、全體の學校衛生の實行されて居らぬと云ふのは、言ふまでもない話であります。而して其實行されぬとか、少しも國民に害を爲して居らぬか、害を爲して居らぬければ、學校衛生と云ふものを別に攻究實施するには及ばぬ、然るに不幸にして此學校衛生に注意せぬがために、本邦の學校生徒は非常な悲境に陥つて居ると云ふ事は事實でございま

す。故に私は是より本邦に於ける學校衛生の狀況を御話しやうと思ひます。

豫て私が明治廿四年以來文部省の囑託に依りまして、全國各地を巡回して、さうして學校衛生上の狀況を取調べて居りますが、其中で譬へば、學校の敷地、——校地の如きものは、私の認めまする所に依ると、僅か百分中四十位しか適當な校地を有して居る所はない。尤も校地の選定と云ふとに就いては、隨分面倒なものでありまして、學識ある諸君の如きは勿論御承知でなければならぬが地方などへ往きますると、考のない人達は、校地の選定を或黨派の爭に供して、黨派問題として、學校位置を縣會や町村會で爭つたりする結果よりして、適當な土地を棄てゝ、却て妙な所に學校を持つて往くと云ふやうなとが、隨分澤山あります。其結果其處の學校に在學する所の生徒に、非常に澤山の病人を拵へて居るのであります。

校舍も亦同じく、學校なるものは即ち大勢の兒童を集めまして、其所に於て精神を使ふ——殊に年齡の幼ない、身體及精神の發育の未だ不十分である所の者に、一定の時間——非常な精神の働きをさせる場處であるからして、其校舍の建築如何に由て、身體に影響を及ぼすと云ふことは非常なものであります。故に之に就いては、學校衛生學者あり、又學校建築の技師ありに、當局者が計つて能く其學校として適當なる所の設計を考へて、建てなければならぬものである。然るに地方あたりの有樣を觀ますると、多くの土地に於きましては大工であるとか、或は教育上に經驗の少い吏員(市町村長又は學務委員)が自分達の勝手次第、都合

の宜いやうな設計をして、學校を建てるのでありますから、校舍の中適當なものと云ふものは百分の廿三、即ち大凡四分の一不足しかない。其外體操、遊戯場のやうなものは、地面を購ふに澤山の資金を要しまするから、之を備へると云ふとも面倒であります。

又教室の構造の如きは、光線の採り方、空氣の流通の善惡に由て、授業を受くる所の兒童に、非常な影響を有つて居りますから、彼の近視眼であるとか、或は脊椎彎曲症（拙著學校衛生學第三版一六六乃至二二三頁參照）の發生するのは、此注意如何に由て大變違ひまするが、それなどは最も酷い。教室の中百分の十四位しか適當のものはないのである。即ち七分の一より適當なものはないのであります。其外飲料水、又便所の構造、總て一樣に惡い。最も惡いのは机、腰掛であります。机、腰掛のやうなものは私は今日迄只の一つも適當な机、腰掛を見たことがない。机、腰掛のやうなものは、其人の長大に應じて丈も幅も必要であるのに、其身体の長大と云ふやうなことに關はらず、宜い加減に造つて與へて居る机、腰掛でありますから、之を机、腰掛と名けるよりは、本載せ尻載せと云ふ方が適當である（學校衛生學第三版一六〇頁以下參照）

さう云ふ風でありますから、脊椎彎曲症を起すのも當り前である。生徒の中百分の六七十位は、皆脊椎彎曲症に罹ッて居るのであります。

豫て私が、今の學校生徒は其半數以上は病人と不具者であると云ふ事を申しました。既に其事は數年以前より言つて居る所でありますが、其んな

事を申すと、或は徒に人の視聽を驚かすものであると云ふ攻擊があるかも知れませぬが、決しておまけでもなんでもない、半數以上病人と不具者であると云ふとは確に認めて居ります。豫て私が巡回をしましたときに、九州、奥羽、四國、中國などで學校の敎員即ち素人——人間の體の强弱、健否の眞個には分らぬ敎員に吩附けて、其生徒の中どの位健康の者があってどの位病人があるかと云ふ事を撿査させて見ましたが、其統計の平均を取ッても、百分の廿四は病人であると云ふことを、證據立てゝ居るのであります。然らば素人目で視てさへ百分の廿四は、病人であると云ふことを申して居りますから、醫者の眼、殊に兒科專門家の眼から見れば、少くとも其三倍位即ち百分の六七十位は病人であると云ふことが言へるのであります。素人は、顏の色が眞黑であれば、體が瘦こけて、蟋蟀のやうな者であつても、壯健であると思ふやうな間違ッて見かたをする、そんな眼で見てさへ、病人の數は百分の廿四あると云ふ者もあります。尤も是は日本ばかりではない。外國の學校でも同樣であッて、學校衛生の統計に就いて非常に盡力されました、アクセル、キーと云ふ人がありますが、其人が調べたものに依れば、高等小學に於て、一万二千人程の生徒を撿査した成績に依つても、百分の四十四、三は病人である、健康の者が百分の五十五、二しかない。然らば歐羅巴でも、矢張學校の生徒に病人の多いと云ふことは確かである。我國においては此比例よりは、まだズット上ッて居ると云ふことを私は認めて居るのであります。此頃私の許へ來ました報告は、

福島縣石川郡某村尋常小學校に於て、校長が自分の熱心から、醫者を二人賴んで全校の生徒を撿査した成績で有りますが、其敎員が手紙を附けて寄越しました其中に、『豫て先生の御話を聽いた時分に、生徒の半分以上は病人と不具で有ると仰しやッたが、其時は半信半疑で居つたが、撿査をした結果百分の五十、六だけは病人である』即ち健康の者は四十九、四であると云ふことを言つて其統計表を送つて來て居ります。又兵庫縣但馬の氣多郡某村の尋常小學校生徒を撿査した統計表も來て居ります。其尋常小學校に於ては百分の四十病人である。之を平均しても百分の五十は病人である。私が調査しました所では、私が自身に兒童の手を取つて診たのは數は一萬不足しかないが、自分が巡回して、視察した兒童は、是迄に何れ五六十万以上ありませう。其大括りの計算をしましても少いものでも、百分の五十、大いのは七十位病人と不具者がありますから、平均百分の六十位は病人であると言ッても宜いのであります是は殊に小學校を指すのであります。

然らば成人をした生徒は如何であるか、是は無論學校に依ッて違ひます。尋常師範學校の生徒と、中學校の生徒と、大學の學生、又私立學校の生徒とは、皆な多少の相違があります。茲に擧げるのは、隨分其の中で著しい惡いのでございませうが、此間私が巡回して調べた、東京附近の某縣尋常師範學校の生徒は、廿四年より廿八年迄の五ヶ年平均に依れば百分の五十病人があります。少いときでも百分の四十六、二、多いときには五十五、一病人がある。それから此頃或四國の尋常

師範學校の校長が統計を取つて寄越したのには、昨年の四月から十一月の間に、其學校生徒に平均百分の六十病人がある。尋常師範學校に於て、さう云ふ有様であッて見れば、小學校に於ても少くとも病人が百分の六十あると云ふは決して怪むべきではない。尋常師範學校に於てすら、さう云ふ有様であるから今日の學校は寧ろ學校を廢めて仕舞つて、私は學校を病院と改名する方がましであらふと思ふ。生徒中に百分の五十以上始終病人があれば、學校を病院と變名した所で、收支相償はざるとはないと私は考へる。けれども病院と云ふものは、病氣に罹ッた者が這入ッて來て其を治療するところであるが、今日の學校は其所へ通學してから病人となるのである故、病院と言はんよりは、寧ろ病體畸形製造所と云ふ名を命けた方が適當であると思ひます。

先づ斯う云ふやうな實况であります。斯く申しましても、決して徒らに人の視聽を聳かすと云ふて渡邊大藏大臣の御小言は喰はない。私は實地視察の統計上から言ふのである。御承知の通り學校の生徒と云ふものは即ち國民の相續者である。今後日本の國民を形成する所の相續人である。其相續人と云ふものが斯う云ふ有様である。半數以上は病人と不具者である。實に賴もしい話ではありませぬか。斯う云ふ有様の國民の相續者を有ッて居る所の吾々日本人が、我國は戰捷國である、已の國は戰に捷ッた、是から素的に國が大きくなる戰後の經營として斯う云ふ大計畫をしなければ間に合はぬ、隨ッて是だけの費用が要ると言ふのである。此費用は――私は經濟上の事は素人であ

りますが、東京商業會議所の建議を見ると、我國民は一二年の間に一躍五割以上の增負擔を受けなければならぬのであるさうです。さうすると我國民は唯戰に捷ッた、從ひて國を膨脹させると云ふために、五割以上の負擔を引受けなければならぬのである。所が、一方我國民の相續人となる所の學校の生徒は、半數以上は病人と不具者である併し政府は、五割以上の負擔を引受けるとが出來る程の能力ある人民と認めたに違ひない。然るに一方に於ては、それだけの負擔には迚も耐へないと云ふ事實があるのである。どッちの見解が正しいか。私共は經濟上に對しては門外漢であるから、それ等の計算は暫く差措いて衛生上の點から——即ち國民の體格能力の上からして論じまするど、到底此五割以上の負擔は、今日の有樣では出來ないのである。此儘で行けば將來と雖ども到底出來まいと思ふ。即ち國の生產力と云ふものは此國民の體力と能力から出て來るものである。人口の繁殖であるとか、商工業の發達であるとか、財政上の進歩であるとか、經濟上の進歩と云ふものが國力を增加しつゝあると云ふは事實でありませう。併し是は比較的の增加であつて、國民の生產力即ち體格、健康、體力と、能力とから產み出す所の眞の生產力に至りては、私の考では退歩して居らうと思ふ、乃ち絕對的の進歩は決してまだ認められぬと信じます。其精しい事は餘り贅々しくなりますから申しませぬが、今の有樣で往きますると、今日もさうあり、今後も、生產力——一己人の生產力と云ふものゝ上に於ては、決して進歩はせぬであらうと思ひます。

成程日本の國の人口は漸々殖へて、年に四五十万の人口が殖へて往く勘定であるから、今日では既に四千万の上を超へて居る。四千万を超えて居るから、ちよいと見ると多數であるが、此中老人であるとか、小供であるとか、多數の女であるとか、役人であるとか、兵隊であるとか云ふ不生產的のものを差引いて勘定をして見れば、日本の生產力を產み出しつゝある所の人は眞個一千万人を超ゑぬだらうと思ひます。其一千万人の體格健康と云ふものは即ち國力盛衰の上に於て關係のあるとは申すまでもない話であります。所が其相續者たる學校の生徒は、今のやうな有樣である、而して日本國は是非此處で膨脹せなければならぬ、五割以上の負擔は免れぬと云ふときは如何なものでありませうか。飴細工の瓢箪を脹らすときに飴の原料が足らなければ、何處が薄い所か出來て、膨らせやうとすれば必ず破裂して仕舞ふ。力のないものが膨脹せんとすると何處かに大穴が明くに違ひない。私の考では、此瓢箪に空の明くのを防ぐ考をして置かねばならぬと思ふ。必要なる負擔は國民たるものが負はなければならぬ。併し負へるだけの原素はどうしても其處に備へて置かなければならぬ。其原素を備へるためには、詰り國民の健康を進めて——殊に國民の相續者となる所の學校生徒の健康を進めて往くと云ふとが、一番必要であると私は信します。已に年を老つて仕舞つて體を打壞して、ヒク〳〵して居る者は、それは死んで仕舞つても宜い。成るべく早く死んだ方が御爲であらう。併し其相續者となる所の學校の生徒の體格如何と云ふとは、是は大變に關係がある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其中には製糞器械とか、飯を食ふ本函と云ふものになるものもありませう、此等は活きて居る間には食ひ潰しであらう、そんな働のない食ひ潰しは死んでも宜いが働きのある人は是非活きて居て呉れなければならぬ。素より學校の生徒は目下働のないものでありますが、之を育てゝ往つた所で始めて働をするものであるから、其者が不建康であつて、早く死んで仕舞つたり病人や不具者になつたなら、蓋其一己の人の損ばかりでなくして國家全体の損害になる。故に此學校生徒の健康如何は、一國の富强と云ふ上に於て、最も關係の深いとである。

御承知の如く廿七年末の調に依れば、全國の學齡兒童は七百三十二万人であります。其中に學校に就いて居る者が殆と四百万人である。學校の數が二万六千あつて、教員の數が六万何千と云ふ數である。此だけの生徒の中からして英雄、豪傑も、學者も又一般の商工業に從事する者も、或は强い戰さ人も、舟乘も皆な出て來るのであります。其基本になる所の學校の生徒と云ふものが、今日のやうな有樣であつては、實に思ひ遣らるゝ話ではありませぬか。

一体此子供を教養すると云ふのは親の義務である子を產んだ以上は、產んだ者が育てゝ一人前の人間にすると云ふのは當り前の話である。然るに中には此義務を盡さぬ者か出來るから親に代つて此兒童を教育する所の義務は國家が負ふて居るのである。依て國家は其權利として何歲になつたら就學しろ何年間は就學の義務年限であるとて法律、命令を以て小學校令を發布した以上は、又之を就

學せしめたばかりでは濟まない。即ち之を教育して、國民としての普通の智識、技能を備へた所の人物として、還へしてやらなければならぬ。法律で以て入學せしむると云ふ權利を有つて居る以上は義務と云ふものも負はなければならぬ。即ち兒童を保護すべき義務が政府に充分あるのであります。それで之を保護すると云ふ以上は、其權能を有する文部省は勿論の事一般人民保護の上からしては、內務省も充分其保護を盡さなければなりませぬ。又海陸軍省に於ても之から先き補充する兵の强弱如何を考へなければなりませぬ。徵兵撿查の成績に由つて觀れば、其成績は年々惡くなつて來て居ります。其撿查を受けに來る者は一遍學校の門戸を通つたものであるから、其源が壞れて居ると、不健康の者が多くあると云ふとは當り前の話である。さうでありますからして陸軍省海軍省も亦た此學校生徒の健康に就いては大に注意しなければなりませぬ。又殖產工業の上からして、農商務省も亦注意しなければなりませぬ。此學校より總ての商工業者、農業者が出て、それが今日の日新の智識を有つて居つて、始めて國の生產力を拵へるものであるから、此點に就いては農商務省も亦た大に注意しなければなりませぬ。即ち此學校生徒の健康を保護すると云ふ上に於ては、政府は十分に保護を加へなければならぬと云ふとは分り切つた話であります。又政府のみならず一般の社會も義務がある。即ち學校を設備管理する所の費用であるとか又は生徒を保護をするに就いて必要な費用であるとか、國民の進步、健康を計る設備であるとか云ふものに對しては、社會も亦た

之を供給してやらなければならぬ義務があるのであります。

隨分世の中には面白い事があつて――是は或東洋の一國ですが、其中に此魚の調べですなア――水產の調べなんぞには年々三万貮千圓も金を使つて居るそれから、蠶の調べに一万五千圓も金を使つて居る。それから山林、原野の調べにも四万圓も使つて居る。それから馬の調べに一万二千圓も使つて居る。所が此○○○○○○○○○○○人間の健康國民體格の如何等の調べには、一文も錢を使つて居らない國がある。此國では人間は虛弱にならうか皆な死んでも宜いと思ふて居るでせう。山林、原野が調べられゝは宜い馬が良くなれば宜い。魚が殖へて網に澤山這入れば宜いと言ッて、人間はどうでもかまわぬと云ふやうな國がある。何處の國か分らぬ。實に是はホコトン極まッた話だらうと思ひます。斯う云ふ風に社會の人は己の相續者たる所の兒童の健康には毫も考を有ッて居らぬ。馬がヒン〳〵嘶いて、魚がピン〳〵跳ねて、蠶が棚木に簇々して居る。成程それも宜いたらう。山林はどれだけエライものであるか。斯う云ふ事を調べるに澤山な金を使ッて、吾々國民の相續者たる兒童の健康に注意して居らぬのであります。それであるから人は愈々萎靡して仕舞ふ。今日御演說なさる長谷川先生が。始終、日本の人間は此儘で往ッたなら、今に鳥羽繪のやうな人間になッて仕舞ふ、團珍の表紙に書いてある樣な人間が出來るであらうといふとを言はれますが、私も聊かさう云ふ考がある。今日の學校を諸君が一遍御覽になると分ると思ひます、實に憫れなものである。さう云ふ國民を育

て、東洋の戰捷國である。戰に捷ッたと言ふて誇らふと云ふのは、頗る勘定が合はぬ話である。

肝心の教育社會などは此事に就いては最も骨を折て宜いのに、さうでなくして餘程冷淡であります唯だ頭の中に無暗に智識を納めるとは知ッて居るが、其兒童が是れだけの智識を得るに堪へるか堪へぬかと云ふとの考を有ッて居る人は甚だ少いそれであるから社會一般の人も、魚とか、馬とか、山林、原野とか、或は地震の調査とか、辷ッたの轉んだのと云ふてツマラヌ事には、澤山の金を使ッて居るが、唯今の三十年か四十年も經ッたら、一般の人間の體格健康が下落して往くと云ふとに就いては、一向頓着して居らぬのであります。どうか此戰後の日本に於ても十分なる計畫をして、此將來膨脹するだけの——計畫通りに膨脹し、或は此計畫よりも尚ほ進んだ所の偉大の膨脹を希望せんとする者は、先づ此國民の相續者となる所の學校生徒の健康を保護するのが、最も急務であらうと思ひます。即ち戰後の經營としては、學校衛生の振作實行が、最も先きにすべきものであると信じます。尚ほ申上げたい事は澤山にありますが、段々あとが間へて居りますから、是だけを以て私は御免を蒙ります

衛生叢談

◎善那氏種痘發明百年紀念會

英國の大醫善那氏が種痘の法を發明して以來本年は其一百年に相當すればとて府下の醫師團体發起して來る五月十四日紀念會を神田青年會堂に於て

催はすよし其趣意書及び施行次第は左の如く英國公使其他外人にも此擧を賛成し英國公使の如きは當日日本語を以て演説を試むといふ

善那氏種痘發明百年紀念會趣意書

疱瘡の蔓延其勢猖獗にして如何に人類に悲慘の殘害を蒙らしめたるかは今尚傳染病歴史の人をして悚然たらしむる所なり幸に前世紀の末英國の醫士善那氏の種痘の法を發明し彼の悲慘の病毒を撲滅し得るに至らしめしは豈に万古不朽の一大鴻業に非すや爾來世界の生民は其徳に浴し其惠を受くる者實に幾千万なるを知らす本年は氏か西暦一千七百九十六年五月十四日該法を發明せしより恰も一百年に相當するを以て文化の諸邦氏の功徳を頌せん爲競ひて紀念會を催すと云ふ我邦に豈に獨り此擧なきを得んや依て左に署名の團体の協同發起して氏か始めて種痘を施行せし紀念日乃ち來る五月十四日をトし東京に於て莊重なる紀念會を擧行し此の一大救世師の功徳を頌せんと欲す有志の士は何人を問はす來りて賛成あらんことを希望す

明治廿九年

東京市京橋區瀧山町八番地東京顯微鏡院内
善那氏種痘發明百年紀念會假事務所

十日醫會　東京醫會
大日本私立衛生會　國家醫學會
顯微鏡學會　處和會
成醫會　赤十字社院内
積善社

善那氏種痘發明百年紀念會施行次第

一明治二十九年五月十四日東京に於て紀念會を施行する事

玄米二升五合或は大麥五升

◉臺灣に於ける軍隊の衛生

臺灣に駐屯せる軍隊の衛生は大に好况を呈し今や患者の員數は著じるしく減じ殆んど內地患者と同數の比例を爲すに至りしといふ今近時軍隊の現在の病兵は左の如しといふ

患者員數病院別

大甲舍營病院	三八	新竹舍營病院	四五
宜蘭舍營病院	一三	臺北舍營病院	二一九
基隆舍營病院	九一	澎湖島舍營病院	一三
臺南舍營病院	一四五	嘉義舍營病院	二五
鹿港舍營病院	八八	打狗舍營病院	八八
鳳山舍營病院	五四	恒春假病室	三
臺灣病院	七四		

合計　七百九十九人

而して其の病症別は左の如しと

脚氣	二三〇	麻剌利亞	一四一
窒布斯	七二	胃腸病	五一
愛憐病	五九	赤痢	一八
疱瘡	九	雜病	一八九

◉臺灣渡航者の注意

臺灣島は土地氣候及家の搆造其他総べて內地と異あるを以て出發前醫師に就き衛生の方法等を聞き合せ渡航の後病に罹らざる樣注意し渡航の上は常に成るべく洋服を着用し且渡航の際は左の物品を持參するを要すと

一毛布二枚乃至五枚　一小蚊帳一帳

一フランチルシャツ　一フラチル腹卷

一脚絆　一綿入

一單衣（單衣の內浴衣は成るべく三四枚持參を要す）一寢衣及枕

一薄外套(ゴム合羽の類)　一長靴或は中長靴
一夏帽子(燈心製兜形のもの最も適當なり)　一殺蟲劑
一熱病豫防劑(キニーネ)　一寶丹
一精錡水　一風藥

◎罐詰の良否

罐詰の善良なるものは如何に遠路寒熱甚たしき地に持參するも腐ることなく其味ひ又美にして軍隊の行旅に欠くへからさるものなり日清戰爭以後は殊に製造家も遽かに增加し精製するに至りたれとも去りなから未だ完全無缺のもの少きは誠に嘆すべきなり坪井醫學博士の説を聞くに同氏は第四回勸業博覽會開會の際此等貯藏器を審査されしとの事なるか內國製の物には完全なるもの少く外國製には完全なるもの多しといふ是れ未だ本邦に於ては未だ精製の宜しからざるが爲か追々版圖も廣まりて東西相旅行する折柄罐詰の良否を見分くる事を知るは必要なることなるべし凡罐詰の審査には種々の順序のあるものにて第一には罐の入物の善し惡より封蠟(口栓を密閉するもの)の模樣を見ること次に中に入りあるもの丶工合及打撿法等とす

先き頃の博覽會の出品中には罐の入物にも善き質のものを用ゐたるもの少く爲めに其罐の金氣が溶けて食品中に混ずる恐れのあるものが多く甚だしきは石油の罐を用ゐたるものもありしよし或は封蠟の一片か罐中に音のする程に入りたるもありたりと而して外面の罐詰の良否をみるには通例打撿法とて罐の外側より棒を以て敲いて見ることにて若し其音が淸澄であれば腐れの恐れはなしと云へとも之に反して音の鈍きものは腐敗の恐れあるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のあればよく〳〵注意すべきことゝなり皆様御實驗ありて音の鋭鈍を察知せられんことを望む元來鑵詰は及ふべく丈け新鮮の有樣にして永く保存せしむるにありて松茸とか鮑とか云ふものは完全なるもの多けれども之に反して牡蠣或は蝦或は魚肉の軟らかきものは高き熱度に堪へざるが爲めに多く變化せるもの多しといふ又鑵詰食品の煮樣には水にて煮たるもあり醤油にて味を附けたるもの油を加へたるもの酢を加へたるもの種々あれども其中で最も宜しきものは水煮にして水煮は金屬を腐らす憂が少く味の附きたるものは動もすれは金屬を溶解するの恐れあり坪井醫學博士の試驗によれは打撿法を施したる鑵詰の數は二千百四十點にして其中で不合格のものは四百七十六點 即 鑵詰全体の五分の一は不合格にして其殘りを温室内にて試驗せしに二百五十六點の内再び温室より出して打撿法を施せしに又五十六點丈けは不合格となり黴菌の有無に就て試驗せしに鑵詰九十二點の内黴菌を發したるものが四十點の多きに至りしと

◉雙兒の原因

近着の維納醫事周報は云へり最も屢々出産するものは割合に雙兒を分娩することあり故に雙兒は餘り多く出産するが爲め三の變症を來たしたるものと見做すを得べく即ち卵巣に許多の卵子を存し同時に數個のグラーフ胞の破綻するに因るものなりとされは年兒を生む婦人は雙兒を生むことも亦甚だ多しといふ我國にては未だ充分の統計表なしといへども兎に角新説と云ふべきなり

◉病室の水

ベルタ、ムチユレヒチルとて大變に小六ツかしき

名前の夫人偶々某新聞に寄せたる論說に古しへは已の惡き人を殺すに一種の毒を用ゐたりと其毒は至て緩慢なれとも遂に人を殺すに至るといふ其毒とは一杯の水を寢臺の下に置くにあり人若し此水を飮むときは死を免るゝもの少しと故に危篤なる患者又は死亡者のある室内に飮料若しくは食物を置くことは注意して避けさるべからす而して假令ひ空氣の流通宜しと云へとも之を飮食するは患者のみならす看護人等にも害あるものにして飮食物を病室内に蓋もなく放置する看護人の如きは取も直さす患者を毒殺するものあり又病室の毒氣は啻に人類にのみ害あるのみならす草木等にも大なる關係を有すべしと故に花の如きものも久しく病室内に置くときは其枯るゝこと速なりと故に泰西植木屋の談に死亡者の室内を飾る爲めに盆栽を借り受けらるゝことは如何に多額の損料を拂はるゝも實に有難迷惑ありと是れ盆栽の如き俄かに發育を中止し葉芽時ならすして枯落することあるか故あり病室の食物は危險なればさもあるべし實に注意すへき事なりといふべし

◉女子の職業

我國の諸工業は日一日より進步し女子に新奇ある職業を與へ自活の道を講せしむるに至りたり昔時は女子の職業は實に僅か二三の業に過きさりしか近年は非常に進步して其類二十餘類の多きに及ひたり

醫者	音樂師	小說家	學校敎員
保母	電話交換	看護婦	按摩
紡績	織物	製紙	製絨
造幣	活版	編物	造花

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

器械縫　繡箔　箱細工

之に加ふるに從來よりの職業養蠶、裁縫、産婆、女髮結、女桂庵を合するときは其數二十餘種の多きに至り特に現今女醫産婆看護婦等大に增加し年々醫術開業試驗等には女子の出願するもの多く本年の如きは是迄になき出願者ありといふ兎に角衛生の爲め賀すへきあり

●蒜と葱は病を豫防す

英國人は常に葱の病氣豫防に効ある事を說く由なるが此頃外國の一種法にて蒜を料理の中に加へて食用すれば人の健康を保ち病を豫防し得べき由を揭げたり蒜も葱も同種類の野菜なれば左る性質を含有し居るなるべし兎に角葱類の身体に効あるとは事實あるが如し

●黑死病の歷史

同病の歷史に付ては其起源判然たらずと雖も最初亞細亞より歐洲地方に蔓延せし者の如く耶蘇紀元前三百年頃より世に現はれたるに似たり而して其最も猛毒を逞ふしたるは今より六百年前にして支那南部に發し漸次進襲して終に歐洲全土に蔓り歐洲のみにても數千万の生靈を殺害し死屍暗紫色を呈す黑死病の名此に始まりしといふ此頃橫濱に黑死病者一名ありたるを以て之れか蔓延を防がんと當局者も大に玆に注意し報告書等を發し大に警戒せられ撿疫を嚴重に施行せられつヽあり支那の如きは目下黑死病に罹る土着人多しと云ふ

●種痘發明者

（此編は奬進醫會の起草せしものによる）

エドワードジエンナーは一千七百四十九年英國グルーセスタートに生る父はステフエン、ジエンナ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ーと云いて此地の副敎師を勤め母は幼名をヘッドと稱へ父母の間に三男二女を擧げヱドワードは其第三子なり千七百七十年廿一歳にして倫敦に出でジョン、ハンターの塾生となり此に万有科學研究の志を起し植物學禽學に心を潜め後年有名なる『鳥の自然史』の著あり醫學に於ては其倫敦に出る前ブリストルの近傍なるソッドバーリーの外科醫者兼藥種家の許に在りて外科を學びしに起り次で倫敦のセントジョージ病院に修め千七百七十三年故郷に歸りて醫業を開きしに其術の優れたるより名聲遠近に聞へ又醫學會を創設し千七百八十八年學士會院の會員に推撰せらる

牛痘の研究

此等彼に於ては普通の經歷に過ぎざりき其大功德大名譽は種痘の發明なり此志は既に彼れが少時の腦裏に胚胎したるなりきジエンナーの生地グローセスターの地にて牛の乳製る家の奴婢等が間には一度牛痘に罹りたる後は不思議にも復た彼猛烈慘酷なる天然痘瘡に罹ることなしといふ流傳の說ありて此輩はジエンナーより以前見聞せし者寡らざりしも瑣々たる俗說と侮りて誰れ一人之を査察するものなかりきジエンナー年少なくして彼ソッドバリーある外科醫の家に徒弟たりし時一日或る村女來り外科醫に診察を求む這は疱瘡なりと云ふを村女打消して予れ此疾を得るとあるべからず予は嘗て牛痘を受けたりと答ふ師の外科醫は何とも思はざりしが其徒弟たるジエンナーは幼年小耳に挾み居たる俗說に思ひ合せ忽ち考ふる樣牛痘を用ひんには必す疱瘡の豫防となるべしと乃ち研究の念を發起し朋友に向て斯々と語りしに朋友輩大

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に嘲笑し若し如此き説を固執せば社中を放逐すべしと嚇かしたり後倫敦にて師のジョン、ハンターに語るにハンター曰く徒らに思ふとなくして實に之を試みよ久しきに耐ゆべし又精細なるとを要すとジェンナーは此大家の言に力を得て滿幅の熱誠を之に捧け凡そ二十年間潜心研究の成績は集りて『牛痘は天然痘を豫防す』との一斷案を生ずるに至りぬ

初めて牛痘を接種すること

指摟ふれは正に一百年前千七百九十六年五月の十四日なりきジェンナーは此斷案を證せん爲めにサラーチルムスといへる牛乳搾婦の手に出でし牛痘より漿液を取りてジェームス、ヒップスルといへる今年八才になれる童兒の小腕に接けたりヒップスは爲めに牛痘に罹りたれば七月十一日に至り更に腐に天然痘の膿液に灌ぎしにヒップスは終に天然痘を患ひずして已みぬ抑もジェンナーが此實驗を行ふを躊躇せざりしものは彼の廿年間の研究あるに依ると勿論なれば又其勇氣を傍へたる一事實ありしなり同じ歳同じ地に痘瘡の流行ありて或る豪家の愛孃ゟ之を患ひ看護の婦女亦相尋ぎて同じ病に襲はれたるに唯だ一人の牛乳搾りを生業とせる小娘のみは長き間其傍に侍せしも心地惡き事だになしジェンナーハ此小娘に注意し其の膿瘀の滿てる飼牛の乳房に接して病手の指に向ひ膿胞の數多生せるを知りたれは是れぞ眞痘の傳染せしむる所以なりと爲し扨はいよ〱彼ヒップスに種痘したるありき

反對説起りたること

ジェンナー既に試驗に依りて我説の正しきを證し

得たれば其實驗の要領を記して牛痘論一篇を著はし官立外科學院に贈りしが學院之を容れず爲めに刊行せられずして己みぬ後ち倫敦に出て種痘發明の事を醫學社會に唱へ其術を推擴めんとしたるに一人として其言を用ひ接種を試みんとする者だになかりければジエンナーは空しく其郷里に歸りぬ何處に到るも反對の聲充ち滿ちて或はジエンナーは人類をして牛の乳房の病質を受けしめ人獸の差別なきに至らしめんとする曲者なりと嘲罵し敎師輩は牛痘を種るは妖術なりと說き世人の多くは種痘したる小兒は其顏次第に牛の面に似來る其の痕は牛の角を生ずるの始なり牛痘せる小兒の泣聲は牛の吼る聲に似たりと云ひて之を惡み嫌ひ會々牛痘を種へし子供あれば其が門外に出る時は村中の人々之に石を投じて室中に追入れたり唯り世俗のみならず學者間にも反對說起りジエンナーを贊するものは之を仇敵視する人さへありき

牛痘說の信用を得たること

ジエンナーは四面攻擊の中にも更に屈せずバークライに於てシエルテンハムに於て益々其實驗を續け諸書を出版し千七百九十九年再び倫敦に至りしに此頃より反對家に對し贊成家も出で來りて貴顯富豪の施術を受るもののあるに至りぬ一千八百年三たび倫敦に至りエグレモンド公と商議して牛痘所を設立し此處より諸方に痘漿を頒ち又國王に謁し後オックスフォルドに赴きしに此地の醫院醫科大學等は氏を大發明家として稱揚推重するに至りぬ次でジエンナーは痘漿を亞米利加に送り此にも聲譽を得たるが程なく佛蘭西に西班牙に葡萄牙に其法次第に擴まり土耳古希臘にも傳へられジエンナ

ーの發明は此に至りて世上一般に一大事功と認めらるゝに至り一千八百〻年には諸方より祝詞を受け金牌を贈られ露帝より環金を贈られ英國議院は二万ポンドの賞金を與へたり千八百三年四度目に倫敦に出でゝ國立種痘所の創立に盡力し千八百十三年オックスフヲルド大學よりエム、デイーの學位を贈られ千八百廿三年故郷に於て脳卒中症に罹りて死せりといふ其功績の大なる永く万世に輝きて天地と共に永く傳はらん

◉驢乳の滋養

母乳に代へて小兒に與ふるには牛、山羊などの乳よりも驢馬の乳の方遙かに優れるの證左あり化學上の試驗に依るに滋養分の配合性質の最も母乳に似たるは卽ち驢馬の乳なり病兒の恃み少なくなりたる場合に驢馬の乳を給して救ひ得たるの例少なからず（牛乳にて育たざる小兒は乳母に附するも亦可なり）こは歐洲にては弘く信用せらるゝ所の經驗上の事實なり故に和蘭の大都會にては小兒醫の賛成を得て小兒の爲めに驢乳を供給する牧場少なからず佛國にても驢乳を販賣する地方多し殊に首府巴黎に於て最も盛なりとす然れども斯の如く衛生上貴重なる驢乳の各國一般に行はるゝに至らざるは之れを得ることの難きに由る卽ち驢馬は乳兒の傍らに在る間のみ絞ることを得るものなるが故に常に乳兒を傍らに飼養し置かざるべからず且つ驢乳の産出量は一日僅かに七合半に過ぎず而して産額の少なき割合に驢馬及び其飼養の料餘り高價なるが故に乳汁の價も從つて高價ならざるを得ず驢乳を搾るには外にも困難の事情あるが故に營利の目的を以て之れを供給するは到底望み難き事

なり（佛國及び蘭國にては五合に付き凡そ一圓強）然れども慈善家の賛成を得て純益金を牧場の擴張改良に用ゆるときは大いに賣價を遞減するを得べし斯の如くして一般に（貧困者にも）驢乳を供給することを得ば乳兒病者の幸福蓋し鮮少にあらざるべし肺結核、重症の胃病、腎臟病等に驢乳の効能あることは古來盛んに稱道せらるゝ所なり近頃獨逸國ドレスデン府に於ては女王カロリナの保護を仰ぎ公私の贊助を乞ふて驢乳を廉價に供給する協會を組織したり此協會は小兒醫二名を長とし穩密に義捐金を募り居りしが此程適當なる牧場を購入れたるを以ていよ〳〵本年の初夏より開業の運びに至るべしと云ふ（藥石新報）

●昨年の傳染病

昨二十八年中全國傳染病 患者は總計十四萬九千二百二十五人内死亡六萬二千六百二人にして患者百人に付死亡四十一人九分五厘に當れり之を前年に比すれば患者に於て六萬九百九十三人を減ずるも死亡は却て九千八百六十二人を增加す此患者の減少は前年赤痢の大流行ありしもの昨年は大に其數を減じたるに因り死亡の增加は虎列剌の流行に由る各病の概況左の如しと

▲虎列剌 勿論戰爭の影響たり然れども例年に比し未だ大流行と稱する迄には至らず即ち患者五萬三千九百九十九人死亡三萬八千五百人にして患者百人に付七十一人三〇の死亡あり最も多きは大阪廣島兵庫富山東京にして岡山香川福岡宮城京都山口長崎愛媛鳥取茨城高知等之に次ぐ

▲腸窒扶斯 患者三萬六千六百七十八人死亡八千三百三十一人にして前年に比し患者十一人死

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

亡百二七十七人を增す最も多きは岐阜長野福岡東京新潟にして群馬兵庫福島栃木香川埼玉山形靜岡愛知千葉等之に次ぐ

▲赤痢　大に減少せり即ち患者五萬九百七十七人死亡一萬二千四百十八人にして前年より減ずると患者十萬四千百六十三人死亡二萬五千六百七十六人あり其多數なる地方は鹿兒島熊本新潟島根岡山福岡廣島にして富山岐阜兵庫秋田滋賀高知愛媛宮崎山口大阪德島愛知香川福井靜岡等之に次ぐ

▲實布的里亞　近年增加の趨勢を呈せしが殊に增加して患者六千百人死亡三千三十六人とあり前年より患者七百九十二人死亡百三十三人を增せり然れども死亡割合は大に減少し前年は患者百人に對し死亡五十四人六分九厘なりしもの減じて五十八人五分二厘となれり此減少は東京に著しきものにして即ち前年は其比例五十六人一分六厘ありしもの殆ど半數に減じて二十八人九分一厘となれり是れ血清療法の効果なりとす而して此年最も多きは東京靜岡愛知にして京都大阪兵庫三重巖手等之に次ぐ

▲發疹窒扶私　年々兵庫縣に多く昨年も亦患者五十六人死亡十三人を出せり其他の府縣は多きも患者十五人を超ゆることなく全國にて患者百八十四人死亡四十九人なり

▲疱瘡　患者千二百八十七人死亡二百六十八人にして前年に比し患者一萬千百三十一人死亡三千七十四人を減ず而して稍流行の跡ありしは千葉山梨の二縣とす

◉新潟支會

新潟市諸姉の盡力により愈々支會設立の義確定し近々發會式擧行に就ては本會々長よりも祝辭を郵送せり尚續々入會の摸樣あり何れ開會式の景況は發會式後掲載すべきなれ共本會の機運も次第に盛運に向ひたり

◎大日本婦人衛生會懇親會

去月廿五日第四土曜日午後一時より芝三田綱町十番地本會長仁禮すが子殿邸内に於て本會春期懇親會を開きたり當日は曇天風强よく多少の雨ありたれば會員の出席如何あらんと思ひしに一時頃より會員の出席引もきらず遂に無慮二百餘名の多きに及びたり來賓には博士學士外國夫人等數名の參會あり二時頃よりは雨も降り止みたれば會員は思ひ〳〵に庭園廣き柴原に或は吾妻屋に或は小山に散歩を試みられしが時々少雨の來りしは誠に遺憾なりき餘興には桃川如燕の講談あり巧みに春日の局馬場の大杯二席を演じ右終り折詰及茶菓等を來會者に頒ち暫時休憩尚餘興には太神樂皿廻し滑稽茶番等種々の演藝ありて尚當日は會長の懇切周到なる待遇と役員諸君の盡力により一同十二分の歡を盡し四時頃散會せり

廣告

寄附

去四月二十五日春期懇親會へ寄附せられたれば玆に記して其厚意を謝す

一招待員幷會員一同へ菓子　會長　仁禮すが子
一金貳圓　副會長　濱尾作子
一金貳圓　評議員　中濱芳子

◎入會者

◎會員根岸かな子の紹介により

本郷龍岡町二十一番地浦山方　通常會員　菊池だけ子
本郷春木町三丁目廿二番地酒井半十郎方　通常會員　中村金白雄

◉會員磯邊曾代子の紹介により

神田南神保町十七番地　通常會員　一井てい子

◉事務所へ申込により

新潟市上大川前通壹番町十七番戸　通常會員　鍵富せつ子
仝　仝十九番戸　仝　鍵富とき子
仝學校町通貳番町百五十八番戸　通常會員　鍵富こう子
仝本町通十三番町三十三番戸　仝　中村しげ子
仝學校町通貳番町六十五番戸安田不二丸方　通常會員　河合小美子
仝寺裏町　仝　笹川みす子
新潟市上大川前通三番町二十番地　通常會員　宮城島欽子

◉幹事三浦教子の紹介により

小石川竹早町八十二番地　仝　三浦世舞子

◉會員和田垣綱子の紹介により

四谷元鮫ヶ橋南町八十八番地　通常會員　谷田とり子

◉會員酒井鎌子の紹介により

日本赤十字社病院　通常會員　萩原竹子

◉會員川俣春子の紹介により

京橋南八丁堀壹丁目二十八番地

◉會員山田くめ子の紹介により

芝田町九丁目四番地　通常會員　綾井きん子

◉門野駿子の紹介により

芝田町九丁目四番地　通常會員　加藤きく子
芝三田四國町十五番地　仝　山口せき子

◉轉居

麴町區富士見町五丁目六番地へ　中村恭子
仝區飯田町五丁目十七番地へ　秋間たい子
小石川區西江戸川町七番地　福田きね子
青山南町六丁目三十番地へ　竹中はる子
麻布三河臺町二十九番地へ　石河里子
秋田縣平鹿郡横手大町上　富岡新助君
日本橋區住吉町七番地へ　樋口八重子
本郷區西片町十番地にの十九號へ　兒島悦子
京橋區木挽町一丁目十一番地へ　飯嶋つる子
岡山縣兒嶋郡味野村六十八番邸へ　野崎陸子
芝公園地十二號三號安養院　竹内とき子
芝區田村町一番地へ　澤とよ子
麴町三番町八十番地へ　春日井清子
神奈川縣小田原新玉町三丁目四百九十二番地へ　長田蝶子

正誤

去月發行の雜誌入會の部桐生きん子を相生とせしは誤に付茲に正誤す

大日本婦人衛生會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎養營品分析表（前號の續）

第九　貝類

營養品名稱	蛋白質	脂肪	灰分	水分
蛤	一三、一九	〇、八一	一、八五	八四、一三
蜊	一三、二〇	〇、七七	一、九六	八四、〇七
石決明	二四、五八	〇、四四	一、九八	七三、〇〇
蜆	一八、四〇	〇、八四	一、一九	七九、五七
牡蠣	八、四五	〇、八九	〇、七七	八九、八九
魁蛤	一五、七九	〇、四五	一、七二	八二、〇四
馬鹿貝	一二、一八	〇、五六	二、二〇	八六、一六

第十　調製營養品類

調製營養品名稱	蛋白質	脂肪質	無窒素有機物	灰分	水分
鰹節	七五、六〇	五、一二	—	五、〇二	一四、二七
豆腐	六、五五	二、九五	一、〇五	〇、六四	八八、七九
油揚	二一、九六	一八、七二	〇、四九	一、三五	五七、四〇
雪花菜	三、六六	〇、八四	六、三五	〇、五九	八五、六六
魚鎌	二〇、八九	〇、〇七	六、二四	二、四三	七〇、三七
豆腐皮	五一、六〇	一五、六二	六、六五	二、八二	二三、八五
生麩	一三、三一	〇、一七	一四、五三	〇、三八	一七、四六
乾瓢	八、一九	一、五四	葡萄糖 五四、三一　二〇、二八	四、九二	二〇、三五
納豆	一九、二六	八、一七	六、〇九	一、八六	六一、八二
白味噌	一一、一三	四、九二	一四、〇三	一〇、一四	五五、九七
味噌	一五、七二	五、九四	一一、三六	一四、〇二	四八、五四
乾溫飩	一一、九二	〇、五五	六三、八七	五、五四	一七、七〇
煮溫飩	四、八六	〇、一〇	二五、九三	〇、五三	六八、三三
素麵	八、四五	〇、七四	六五、七八	五、一六	一九、五八
煮素麵	二、四五	〇、〇一	一七、一一	〇、二九	九七、九六
蒟蒻	〇、〇一	—	三、一〇	〇、四八	九六、一五

明治二十一年二月二十八日内務省許可

調製營養品名稱	蛋白質	脂肪質	無窒素有機物	灰分	水分
澤庵漬	一、三八	〇、〇六	六、〇二	八、三〇	八二、七三
三河島菜漬	二、二一	〇、三二	三、五二	〇、四八	九一、二五

第十一 肉類

肉類ノ名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	灰分	水分
牡牛肉	二一、三九	五、一九	〇、四二	一、一七	七二、二五
牝牛肉	一九、八六	七、七〇	〇、四一	一、〇七	七〇、九六
豚肉	一四、五四	三七、三四	〇、四〇	〇、七二	四七、四〇
仝瘠肉	一九、九一	六、八一	〇、二〇	一、一〇	七二、一八
馬肉	二四、四九	〇、七二	〇、四二	一、一七	七三、六二
鷄肉	一八、四九	九、三四	一、二〇	〇、九一	七〇、〇六
仝瘠肉	一九、七二	一、四二	一、二七	一、三七	七六、一二
鴨	二二、六五	三、一一	二、二三	一、〇九	七〇、八二
鷄卵	一三、五五	一一、一一	〇、五五	一、一三	七三、六七

肉類ノ名稱	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	灰分	水分
乳牛	蛋白質一四、九 乾酪三、一七	三、九九	乳糖 五、一八	〇、七三	八六、四四
煉乳（コンデンスミルク）	八、三九	九、四六	乳糖 七、六五 糖蔗 四一、二九	一、八八	三一、三三

明治廿九年四月廿九日印刷
明治廿九年五月一日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中徳三郎
印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造
印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可 第一金曜日發行 （定價金拾錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN